



佐伯市議会議員 清田 哲也 議会報告

皆さん、こんにちは。随分と秋らしくなってきましたね。9月、10月は県体、鶴岡商工祭、小学校、地区の運動会とイベントが目白押しです！！何かと忙しい日が続きますが、気温の変化も激しい時期ですので、皆さんも体調管理気をつけてくださね。県体の方は、議員ソフトボールに5番ショートで出場。1回戦は豊後大野市に勝ちました！！二回戦は残念ながら大分市に負けてしまいました。陸上は400mリレーと100m個人に出場、リレーは4位、個人100mは何とか3位入賞できました。1,2位は自分より若い議員さんだったので何とか面目は保てましたが・・・^_^；
さて、一般質問は、大型船修理ドックとごまだしうどんのPRに関しておこないました。最後まで、じっくり読んでください！！

大型船修理ドック建設協議会について

問・ 国、県、漁業関係者との連携はどうなっているのか？

答・ 県の港湾課、佐伯土木事務所、漁協の各支店長にも勉強会、講演会には出席して頂き、情報の共有化に努めている。5月には海事局長にも来てもらい、国土交通省との連携も深めている。

問・ 適地の確保、事業主体の選定、採算性の問題等、実現に向けて克服すべき課題は多いが、解決に向けての具体策は？

答・ 最大の課題は採算性の問題である。そもそも、修繕は人件費の割合が高く利幅の少ない事業で、人件費の安い国々の修繕工場がライバルとなる。さらに、現存するドックや船台でも修繕は可能であるため、100～150億かかると予想される投資をして、佐伯湾に修理ドックを建設する事業主体を誘致するためには何をすればいいのか、非常に困難な課題に直面している。

問・ 修理ドックは知れば知るほど、実現に向け困難な課題が多く、雇用の増大、企業誘致をより現実的に考えると、シップリサイクルの方が実現の可能性が高いと思われるが、協議会の目的にシップリサイクルの誘致も追加してはどうか？

※シップリサイクル・・・自国の船は自国で廃船、解体しなければならないとする、国際条約が批准される見通しをもとに、大型船の解体、リサイクルを事業化する実証実験が北海道室蘭市にて行われている。

答・ シップリサイクルは大型船の解体業なので、修理ドックとは全く別の性質であるが、両方とも港湾に関係する産業であるので、シップリサイクルについても現在室蘭で行われている実証実験の成果を研究し、協議会で取り組んでいくかどうか検討したい。

ごまだしのPRについて

問・ 日清食品からごまだしうどんの冷凍食品が発売されたが、宣伝効果を高めるため、すでにごまだしのPRに尽力してくれている、お笑いコンビダイノジをごまだし観光大使に任命し、秘密の県民ショーなどの全国メディアに日清食品と佐伯市とでスポンサーとしてダイノジに出演してもらうなどの工夫をして、市長が言う食観光を、ごまだしを起爆剤として推進していく必要があると思うが、どのような方策を講じていくのか？

答・ まずは、全国的に注目を集めているB-1グランプリに出場し上位を目指したい。また、ダイノジの起用については、観光協会はもとより、佐伯ごまだしの会にも検討してもらう。

ダイノジごまだし観光大使に就任！？

ダイノジ、佐伯市出身の笑いコンビです。大地君と大谷君です。大地君はエアギターで世界一にもなりました。大谷君とは、僕、高校の時のクラスメートです。知らない方もいらっしゃるでしょうが、結構売れています。今回の一般質問の後、観光課がすぐにごまだしの会に提案、了承されました！！彼らは、もう、何年も前から、関西や、関東のお笑いイベントでごまだしうどんをPRし続けてくれています。愛する故郷佐伯のために何かできることがあればといつも言ってくれています。今回も二つ返事で引き受けてくれました。日清食品のごまだしうどん、そしてダイノジを皆さんで応援してください！！“ごまだし”が売れば売れるほど佐伯が全国区になっていき、本当のごまだし食べたいという方がたくさん佐伯に来られるかもしれません。そうなれば、お寿司や干物、他の佐伯の食べ物も知ってもらう事ができ、どんどん観光客が増えていく可能性を十分に秘めています。この不景気を吹っ飛ばす起爆剤になると、僕は思っています！！

※本人からの了解は得ましたが、現在、市とマネージャーで交渉中、正式な就任はまだです。

ブログ毎日更新中！！ 清田てつや で検索してね！！

直通携帯 080-1534-9329